



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第20巻第  
2号)・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第20巻第2号)・購読要項・投稿内規. 泌尿器科  
紀要 1974, 20(2): 140-140

ISSUE DATE:

1974-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/121617>

RIGHT:

## 編 集 後 記

本年より奇数号はT. T.氏が、偶数号はO. Y.が編集後記を担当することになった。本誌の創刊者稲田 務先生の名文は有名であり、この編集後記も楽しんで書いておられたように思う。加藤篤二先生は、豊富な人生経験と学問に対する熱意を短い文でもうかがうことができた。大先達と比較されてはとてもじゃないが、さて小生はどういこう。まあ気取らず構えずやる以外になさそうだ。

随想は今まで泌尿器科以外の先生方に書いていただいた時期が長かった。またしばらくは泌尿器科にもどしたい。本号には石神襄次教授に書いていただいた。まさに長年この方面の研究をされてきた先生の面目躍如たるものがある。  
(O. Y.)

## 購 読 要 項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料3,000円（送料とも）前納していただきます。  
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間15ドルです。
3. 入会は氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

## 投 稿 内 規（1969年1月改正）

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。  
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあけ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C,  $\mu$ , %, pHなどを使用し、は不要です。またBUN IVP NPN PSP TURなども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わずTable 1, Fig. 2等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。  
A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。（論文題名は自由です）  
例 1) 中野：泌尿紀要，1：110，1955。  
2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45：527，1941。  
文献名は正式略称を用いてください。  
例：日泌尿会誌，臨床皮泌，皮と泌，泌尿紀要，臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。  
B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数、Vol. 数、p. 数、発行所、出版地、年次。  
例 1) 加藤篤二：日本泌尿器科全書，Vol. 5, p. 175, 金原出版・南江堂，東京，1960。  
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr.: Urology edit. by Campbell, M. F. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は最終的にご希望があれば返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

---

泌尿器科紀要 第20巻 第2号	1974年2月25日 印刷	1974年2月28日 発行
創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤二		定価 500円(送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
606 京都市左京区聖護院川原町53	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入

---